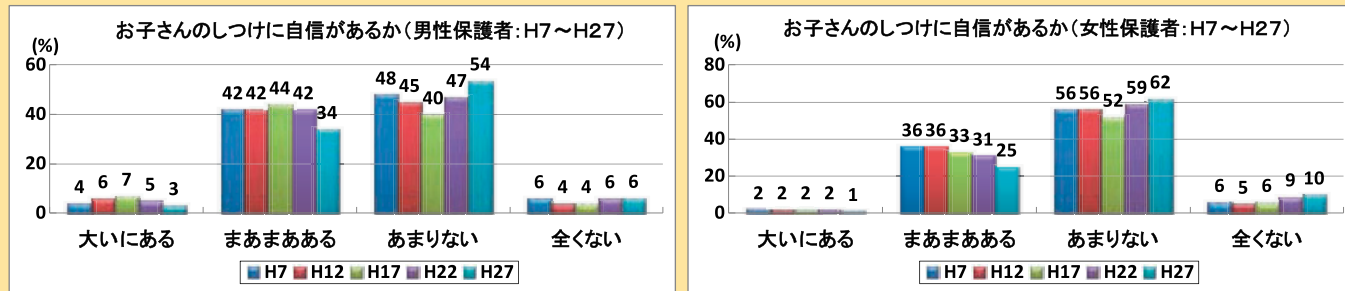
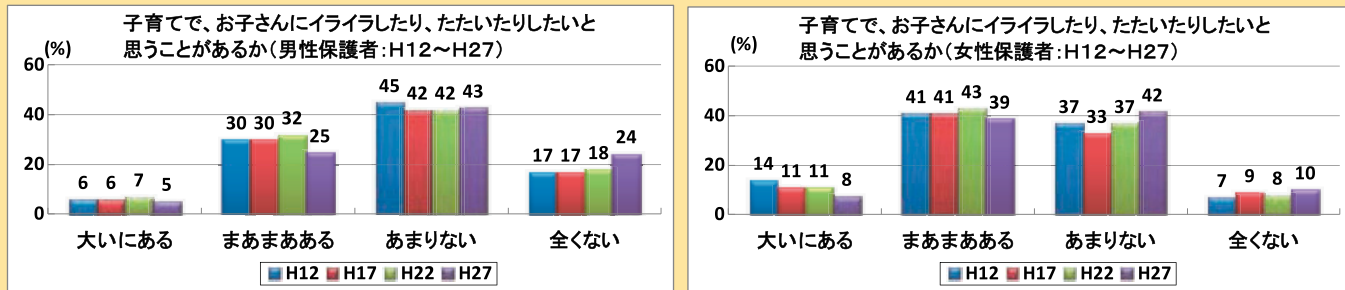


親の子育てについての学びの支援や 子どもに関わる全ての大人の交流を深めましょう！



「しつけへの自信」は、「大いにある」と「まあまあある」を合わせた割合が、男性保護者では、平成7年度46%だったのに対し、平成27年度は37%と9ポイント減少し、女性保護者では平成7年度38%だったのに対し、平成27年度は26%と12ポイント減少しています。特に増加してきている「全く自信がない」と回答した保護者への対応が喫緊の課題です。子育てに関する情報があふれる中で、大人同士で子育てに関する交流・学習が十分になされていないことが一つの要因と考えられます。



「しつけへのイライラ感」は、平成27年度「大いにある」と「まあまあある」という男性保護者は30%、女性保護者は47%で、平成12年度に比べ若干減少しています。その中で、「大いにある」という女性保護者は8%、約1割の女性保護者が、虐待にもつながるようなイライラ感到度々襲われていることになります。

◇小中高校等の授業等で乳幼児と接する機会を設けたり、小児科医や産婦人科医などと協働し、家庭教育について学び合う機会を設けたりすることが一層求められます。また、「子育ての楽しさ」を実感でき、悩みや不安を解消できる情報提供や場づくりも必要です。親の子育てについての学びを支援し、子どもに関わるすべての大人の関わりが望まれます。



一人で悩まず 気軽にアクセス

① HP「ふくおか子育てパーク」
～子育てに役立つ情報がいっぱい～
<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>

② 子育ての悩みは「メール相談」
～先輩ママがお受けします～
ふくおか子育てパークのコンテンツの相談フォームから受け付けています。

③ 家庭教育相談電話「親・おや電話」
～専門の相談員がお受けします～
電話 092-947-3515
月曜～土曜 (9:00～17:00)
※ただし、センターの休所日、第2月曜日、第4土曜日、祝日・年末年始を除く

編集／発行
福岡県立社会教育総合センター
糟屋郡篠栗町大字金出 3350-2
電話 092-947-3512

※この調査の報告書及びダイジェスト版は、福岡県立社会教育総合センターのホームページ (<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>) からダウンロードできます。

ダイジェスト版

平成27年度「幼児(3・4・5歳児)をもつ保護者の子育てに関する調査」のまとめ

20年間の推移をふまえて

子育てや家庭教育について みんなで考えていきましょう



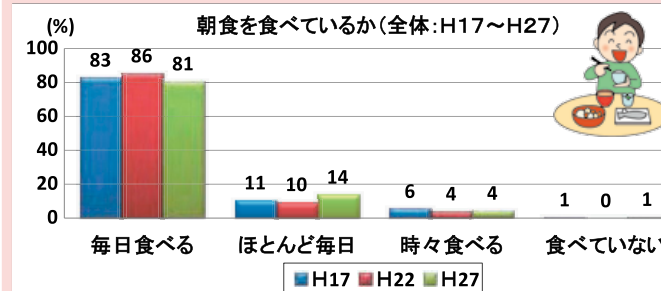
対象者：県下13幼稚園、21保育所(園)の
3・4・5歳児の男性保護者、女性保護者
有効回答数：男性保護者1,316名、
女性保護者1,696名、
合計3,012名
※グラフについては、無回答分は省略しています。

福岡県教育委員会では、平成27年度に「幼児(3・4・5歳児)をもつ保護者の子育てに関する調査」を実施しました。この調査は平成7年度から同じ幼稚園・保育所(園)の保護者に御協力いただき、5年ごとに実施しているものです。今回で5回目になります。

今回の調査や20年間の推移をもとに、現在の保護者の子育ての実態や思いをまとめました。

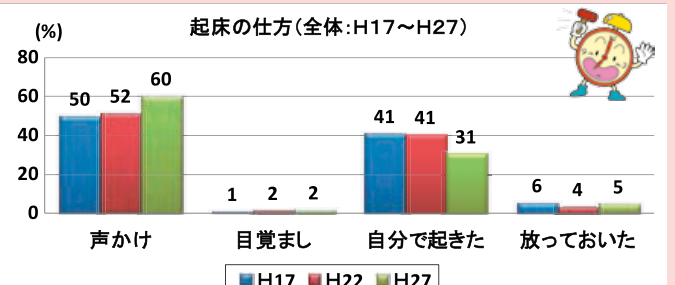
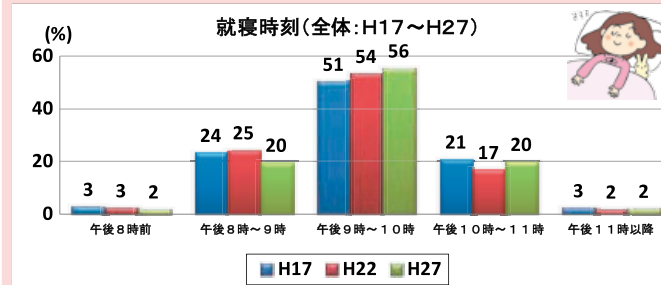
これからの子育てや家庭教育の在り方を探るきっかけとして活用していただければ幸いです。

幼児期から規則正しい生活習慣を身に付けましょう！



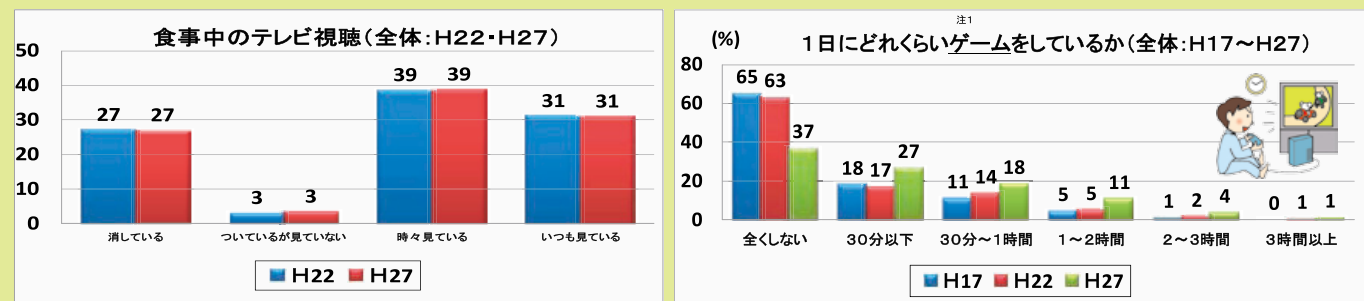
朝ごはんを「毎日食べる」「ほとんど毎日食べる」を合わせた割合は、95%であり、平成17年度・平成22年度から高い割合を維持しています。

しかし、就寝時刻に関しては、前回・前々回と比較すると、午後9時以降に寝るいわゆる「遅寝」が増えています。朝、「自分で起きた」割合も減っており、就寝時刻の遅れが起床の仕方に影響を及ぼしています。



◇「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣リズムを整えることは、幼児の発達の基礎・基本となり、1日の活発な活動のためには最も大切なことです。また、幼児期に獲得した生活習慣はその後の成長・発達に大きな影響を及ぼします。「夜9時前に寝る→朝早く起きる→朝ご飯をきちんと食べる→日中活発に活動する→疲れて早く寝る」という望ましい生活リズムの確立に向けて、ひとつずつ実践していきましょう。

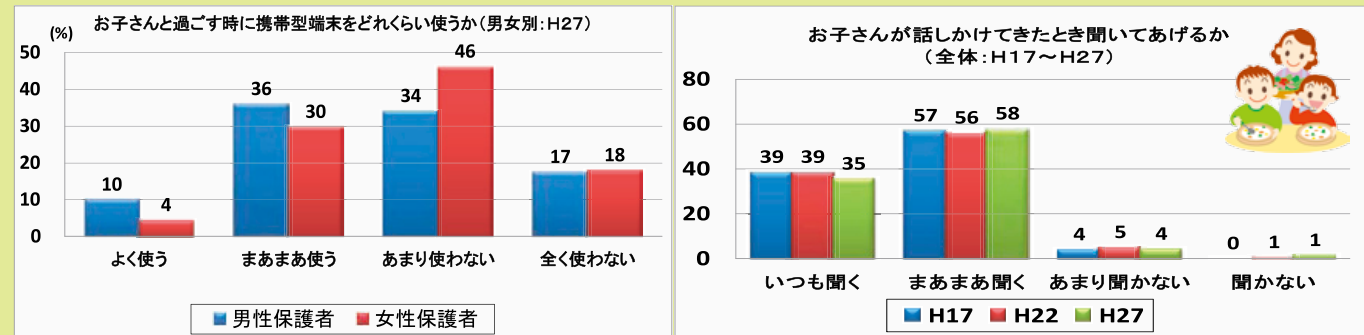
親子のコミュニケーションの在り方を見直してみましょう！



「食事中のテレビ視聴」については、平成22年度と平成27年度では数値的には変化がなく、約3分の1の保護者がテレビをつけっぱなしで、いわゆる「^{注2}ながら族」となっているのではと懸念されます。食事中的話題の乏しさや保護者と子どもの直接の交流の仕方等の未熟さもあとと考えられます。

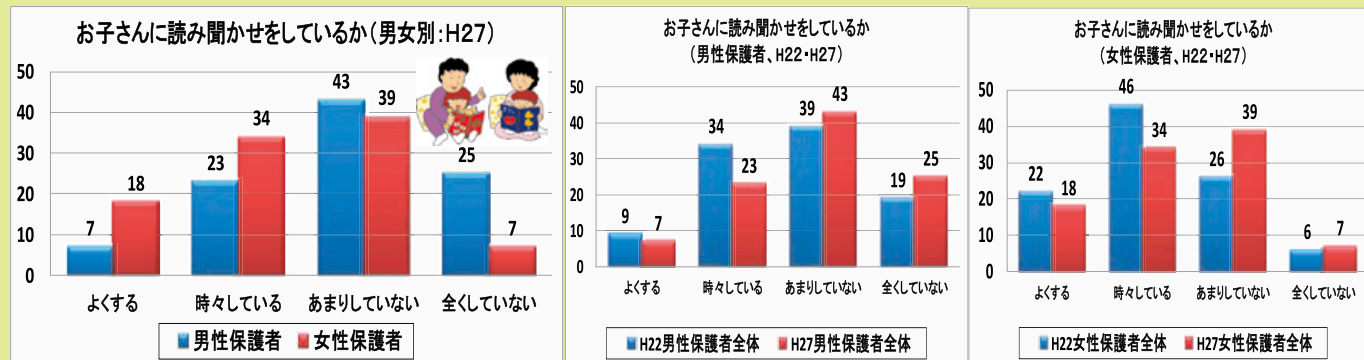
「1日のゲーム時間」については、平成22年度に比べ、「全くしない」と答えた割合が26%減少しています。昨今の子どもの生活実態から、携帯型ゲーム・ソーシャルネットワークゲームをする子どもの割合が大幅に増えていると考えられます。全体でも6割以上がテレビ、パソコン、ネット、携帯型のいずれかのゲームをしているという実態があり、単に視力や聴力に与える影響だけでなく、人間形成の上でとても大切な保護者と子どもの交流や子ども自身の直接体験の機会を奪うものとして注意していく必要があります。

注1…ここでは、テレビ、パソコン、ネット、携帯型のいずれかのゲームを指す。
注2…ラジオや音楽をかけながら勉強や仕事をする習慣のある人。【広辞苑第六版】岩波書店より



子どもと過ごす時の「携帯型端末の使用頻度」については、女性保護者に比べて男性保護者の方が多く使用していることが分かります。

「子どもとの対話」については、じっくりと子どもに向きあう保護者が近年少なくなっているのではと心配されます。多忙化がいわれる中、子どもの話を「いつも聞く」保護者の傾聴の姿勢は、子育てにおいて今後ますます不可欠なものとなります。子どもを共感的に受け入れ、相互に認め合って、直接の関わり合いの中で、子どもの主体性を引き出していくような対話がなされているか考えていく必要があります。

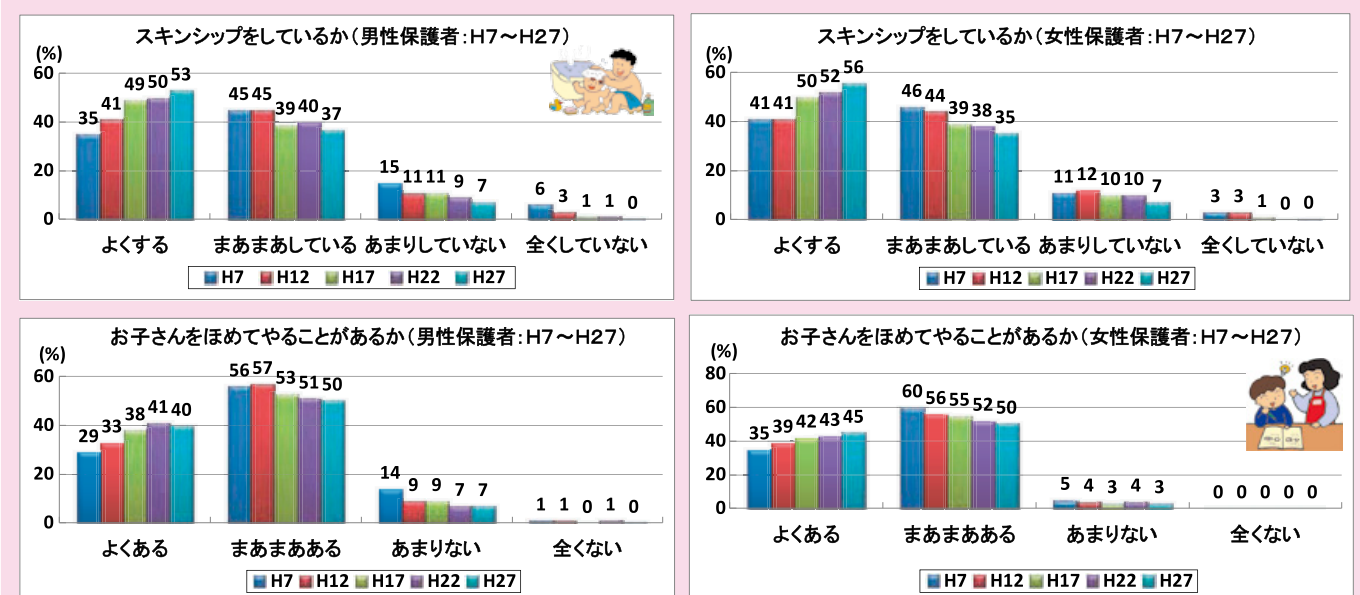


「^{注3}読み聞かせ」については、女性保護者に比べて男性保護者の方が読み聞かせをしていないことが分かります。また、前回調査に比べ、男性保護者、女性保護者ともに読み聞かせをする割合が減少していることも分かりました。読み聞かせは、子どもに創造力や考える力をつけさせ、豊かな感性や情操・思いやりの心を育み、本を通じて親子のコミュニケーションを図ることができます。幼児期に読み聞かせをすることで、読書への興味・関心を深めさせていきましょう。

注3…(子供や聴覚障害者などに)文章を読んで聞かせること。【大辞林第三版】三省堂より

◇幼児期は、人間関係の基礎をつくる時期です。何事にも果敢に挑戦し、力を発揮する経験を蓄えながら成長していきます。それを支えるのは、身近に信頼できる大人の存在です。信頼を基本とする人間関係は、日頃の愛情に満ちたふれ合いの中で形成されるものであり、家庭における保護者と子どもの交流がその基本となります。親子の直接的関わりの充実を大切にいきましょう。

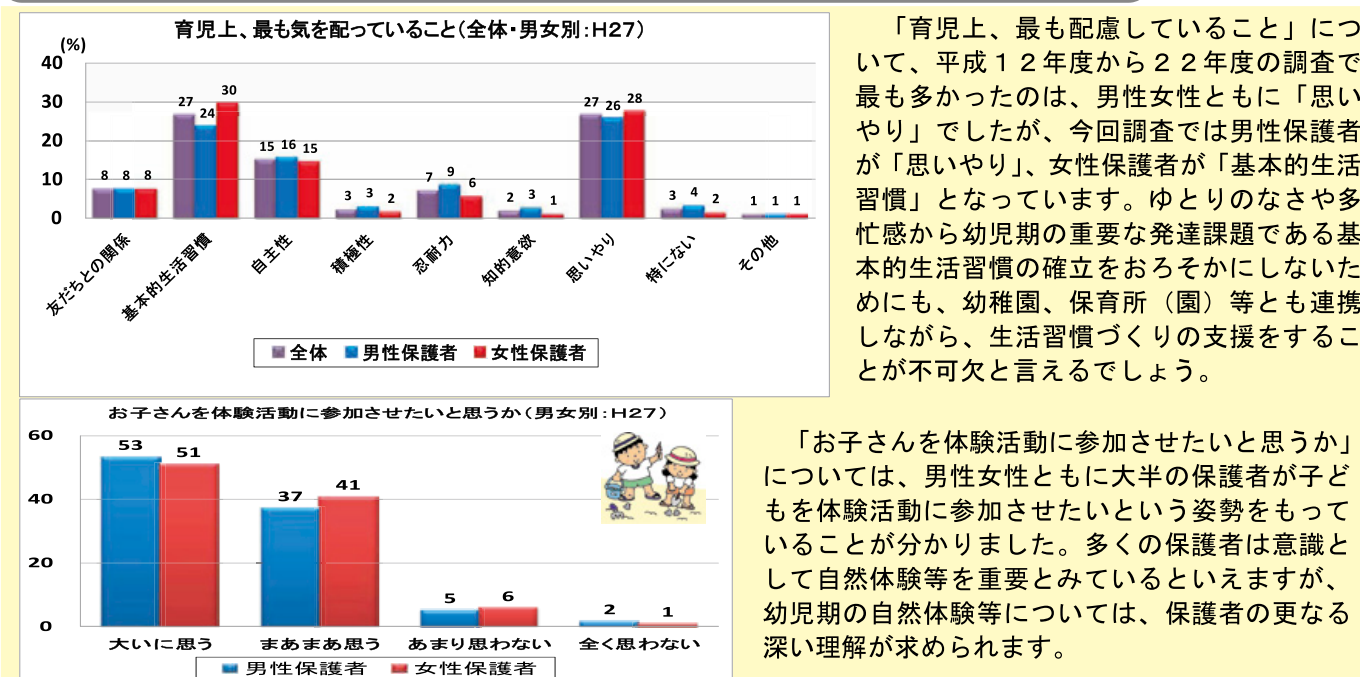
スキンシップやほめることで温かい愛情表現を大切にしましょう！



「スキンシップ」や「お子さんをほめること」については、「よくする」「よくある」との回答が増加傾向にあります。核家族化・少子化の中で、子どもとのふれ合いを大切にしている保護者が増えていることが分かります。スキンシップや愛情表現の重要性が認識されているからと思われます。保護者と子どもの交流を地域活動や異年齢・異世代交流など、家庭外の取組に広げていき、温かなふれ合いを深めていくことも必要です。

◇福岡県では、学ぶ意欲や自尊心、チャレンジ精神、勤勉性や逆境に立ち向かう心など、子どもが自律的に成長するための原動力となる人格的資質を効果的に育成するために、鍛えて、ほめて、子どもたちの可能性を伸ばす、「鍛ほめ福岡メソッド」という福岡県独自の指導方法を示しています。教員や地域における指導者をはじめ、大人がこの指導方法を共有し、実践できるように努めていくことが大切です。

たくましく豊かな心を育む体験活動をさせましょう！



「育児上、最も配慮していること」について、平成12年度から22年度の調査で最も多かったのは、男性女性ともに「思いやり」でしたが、今回調査では男性保護者が「思いやり」、女性保護者が「基本的な生活習慣」となっています。ゆとり的なさや多忙感から幼児期の重要な発達課題である基本的な生活習慣の確立をおろそかにしないためにも、幼稚園、保育所(園)等とも連携しながら、生活習慣づくりの支援をすることが不可欠と言えるでしょう。

「お子さんを体験活動に参加させたいと思うか」については、男性女性ともに大半の保護者が子どもを体験活動に参加させたいという姿勢をもっていることが分かりました。多くの保護者は意識として自然体験等を重要とみているといえますが、幼児期の自然体験等については、保護者の更なる深い理解が求められます。

◇たくましく豊かな人間関係を築く能力を培うためには、幼児期から葛藤・失敗・成功等、様々な体験を積み重ねることが必要です。外遊び、お手伝い、自然体験、地域や幼稚園、保育所(園)等での行事等、親子で多様な人とふれ合う体験活動の機会を充実させましょう。